

ノコギリハリアリに就いて

寺 西 暢

(第六圖版 A)

ノコギリハリアリ *Stigmatomma silvestrii* Wheeler は F. Silvestri が奈良で採集した 2 匹の職蟻に基づいて書かれたもので、¹⁾ 之が日本内地から *Stigmatomma* の記録された最初であつて、今日まで唯此 1 種のみが知られて居る。

特 徴

額片の前縁は弧状をなし、數個の鋸齒を装ふ、觸角鞭狀部は球根節を有せず、複眼は其の屬名の意味する如く微小、上顎は極めて長く、先端は尖り、咀嚼縁の一部は二列よりなる鋸齒を有す。額稜は廣く離る、腹柄は分離不完全にして明瞭な結節をなさず。

赤褐色： 頭の後縁及び前胸背は稍暗色、觸角及脚は黄褐色。

体 長： ♀—3.2 mm.

分 布： 日本本州—既知の産地は、横濱根岸、京都嵯峨、奈良であるが昨年筆者は京都府下舞鶴の沖の冠島で 14 頭の職蟻を同一個所から得た、其所は陰鬱な樹下の塵埃の捨て場で蟻は見付からなかつたが多分一巢を形成して居たものと思はれた。この蟻の棲息所については既に報告した。²⁾

日本内地産としては最も祖先的な形状を示すもので又珍しい蟻の一つである。

Genotype と Roger の原圖

屬 *Stigmatomma* は現今 Ethiopian region を除いて他の何れにも發見されて居るが其の包含する種は極めて少なく又稀なものらしい。日本産の *silvestrii* は亞屬 *Stigmatomma* に入るが Papuan のもので額稜の接近して居る點で亞屬 *Fulakora* に入るものがある。

この *Stigmatomma* と云ふ屬を設定したのは Dr. Julius Roger (1859)³⁾

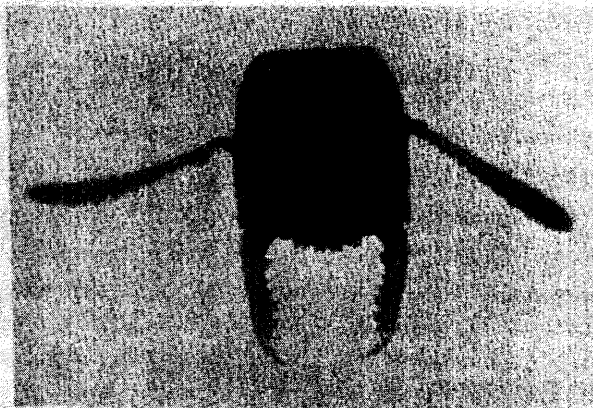
¹⁾ Boll. Labot. Zool. Gen. Agr., XXI, pp. 97—98, 1928.

²⁾ 關西昆蟲學會々報 No. 4, p. 77, 1933.

³⁾ Berl. Ent. Zeitschr., vol. 3, p. 250, Pl. 1, 1859.

で氏は其の報告 “Beiträge zur Kenntniss der Ameisenfauna des Mittelmeerlandes Erstes Stück.” に於て 2 種の *Stigmatomma* を記載した、即ち *denticulatum* と *serratum* とである、〔*serratum* は Baltimore (Maryland 州、U. S. A.) 産であつて之は後 *St. Pallipes* Haldeman のシノニムとなつた〕そして *denticulatum* の方が前に載せられて居るので現今 *Stigmatomma* の genotype は *denticulatum* と云ふ事になつて居る、所で面白い事にはこの *St. denticulatum* は typespecimen が記載によると腹柄と腹とを欠除して居て Roger は標本が完全であつた當時の記憶にもとづいて簡単に記載して居ると云ふ一寸變つた種である。地中海沿岸地方に産するものであるが、か様な曰く付きなものであるためにか私の記憶に強く残つて居た。所が近頃全く思ひがけなくも Roger の原圖、即ち氏が其の報文（前出）に入れた一枚の圖版 (Taf. VII) のもとになつた Roger の肉筆の原圖が私の手に入つた。この圖版は *St. denticulatum* の頭と其の他 13 個の figures を持つて居るものであるが、原圖の方は 9 枚の小紙片に鉛筆を以て畫かれて居る（但し内 1 枚はペン畫）。

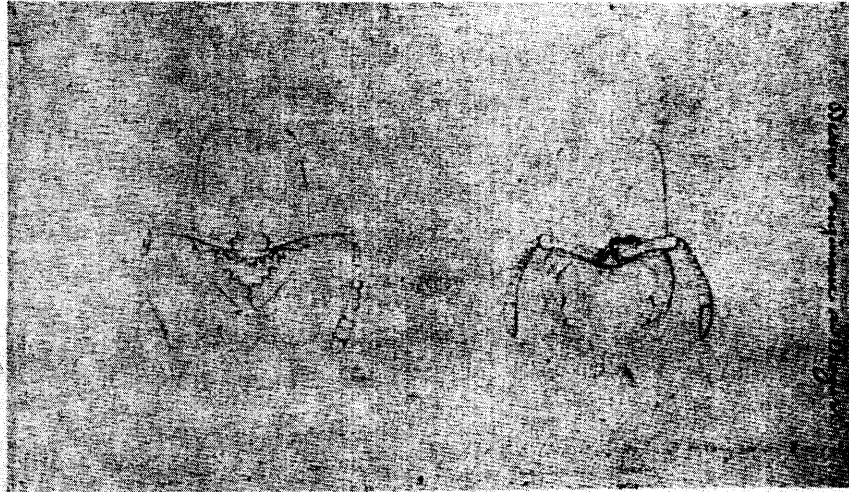
蟻の分類の始祖と云つてもよい Julius Roger の原圖と云ふ意味から少なからぬ興味を感じる事と、もう一つは圖版作成に當つて石版畫工が原圖を正確に傳へて居ないために、原圖と圖版との間に多少の差異が出来て居るのは非常に残念に思ふので、丁度日本産の *Stigmatomma* の一種について書いた機會に、この Roger の原圖の中から *St. denticulatum* を含む一枚を選んで、寫眞銅版によつて讀者諸兄に御紹介する事にした。（第六圖版 A 参照）



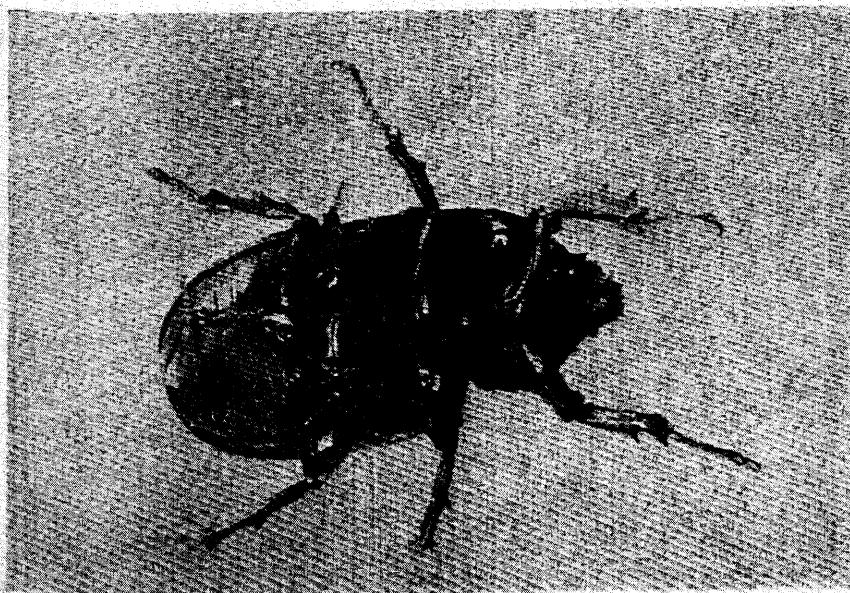
Stigmatomma silvestrii Wheeler 蟻の頭

第六圖版 (關西昆蟲雜誌第二卷)

(A) ノコギリハリアリに就いて 寺西 暢



Roger の原圖：Roger の報文の圖版 (Taf. VII) と比較すれば容易に差異を見出す事が出来やう、何分鉛筆畫であるため甚鮮明を欠くが、消したり、直したりした苦心の跡が窺はれる、左が *St. dentifolatus* で原圖と同大。 (A)



(B) カブトムシ ♀ 一畸形 福貴正三